

PRESS RELEASE

2008年8月29日

自然と調和した美しい建築デザイン、そして 最新のエコ・テクノロジーを活用した新世代の自然史博物館

『カリフォルニア科学アカデミー』が9月27日に新装オープン

サンフランシスコのランドマークとして 155 年以上の歴史を持つ『カリフォルニア科学アカデミー (California Academy of Science)』が本年 9 月 27 日、ゴールデンゲートパーク内に大きく生まれ変わってオープンします。公園の一部地面を持ち上げそれをそのまま屋根部分に載せたようなユニークなデザインが特徴となっており、2.5 エーカー (約 10,115 m²) の広さの屋根部分には植物が生い茂り、自然と建築の美しい融和を実現した新たな文化的アイコンとして、既に世界中から高い評価を獲得しています。館内には「キンボール自然史博物館」、「シュタインハート水族館」および「モリソン・プラネタリウム」及び研究施設が入り、2,000 万以上の科学標本が保有される予定です。

建物全体に省エネ素材や技術を採用し、自然環境に配慮したサステナブルな構造となっています。建物最大の特長である屋根“リビングルーフ”は、建築物の環境配慮基準の認証制度“LEED (Leadership in Energy and Environmental Design)”^{*注1}の最も高い格付けである「LEEDプラチナ認定」を取得予定です。関西国際空港旅客ターミナルビルやフランスのポンピドゥー・センターなどのデザインで広く知られ、プリツカー賞も受賞したイタリアを代表する建築家、レンゾ・ピアノが設計を手掛け、自然界を調査、分析、保護するというアカデミーの使命をこの建物を通して具現化しています。

1853 年にアメリカ西部初の科学機関として創立された『カリフォルニア科学アカデミー』は、時代とともにその規模と業務を拡大しています。今回の大規模なリノベーションは、アカデミーの由緒ある歴史を基礎として、科学的教養を高め、人々の関心を満たし、地球の自然資源を記録および保存するという使命をより推進するものになります。

「科学が我々の日常生活になくってはならないものになっている今日、自然史博物館は、21 世紀の様々な問題に正面から取り組む責任があります。展示に力を入れるだけではなく、来館者に刺激を与え、自然資源の保存や地球上の生命の多様性の維持を目指す新しい施設をつくるのが、私たちの責務であると考えています」(館長のグレゴリー・ファリントン博士のコメント)

^{*注1} 米国グリーンビルディング協会 (U.S. Green Building Council) によって開発・運用されている建築物の環境配慮基準の認証制度



9月27日に新装オープンする「カリフォルニア科学アカデミー」の全景

カリフォルニア科学アカデミーについて

カリフォルニア科学アカデミーは、サンフランシスコのランドマークとして155年以上の歴史を持ち、博物館、水族館、プラネタリウムと、世界的に認められた研究・教育プログラムとを同時に兼ね備える世界で唯一の機関です。この無類の組み合わせによって、来場者は、フィリピンの珊瑚礁の深みからコスタリカの熱帯多雨林の天蓋、ひいては宇宙の彼方まで、一度の訪問ですべてを探究することができます。アカデミーには、研究スタッフとして30人の博士レベルの科学者がおり、100以上の研究・フィールドアソシエイトおよび300人以上の特別研究員の協力を受け、自然界を探究するために毎年多くの探検を実施しています。また、アカデミーでは、人類学、水生生物学、植物学、比較ジェノミクス、昆虫学、地質学、爬虫類学、魚類学、無脊椎動物学、哺乳動物学、および鳥類学の11の研究分野で研究を行っています。アカデミーの世界最大規模の研究資料には2,000万以上の標本が含まれており、これらは自然界の歴史と未来の比較研究のために欠かせないツールです。

●URL : <http://www.calacademy.org>

<カリフォルニア州について>

カリフォルニア州は、「ゴールデン・ステート（黄金の州）」と呼ばれるまさしく黄金のチャンスを与えてくれる州です。カリフォルニアと言えば、不夜城を思わせる大都市、ショッピング、ハリウッドの映画スターで有名ですが、もちろん美しい大自然、ビーチ、テーマパーク、砂漠、ワイン・果物など豊かな農産物が味わえることが出来、日本の皆様に最高にフレンドリーで楽しい旅行体験を提供します。家族での旅行を考えている方、そしてアドベンチャースポーツをされる方にとっては最高の旅行先といえるでしょう。カリフォルニア州のイベントや楽しみ方についての詳細は、公式ホームページ www.visitcalifornia.jp でご覧いただけます。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

カリフォルニア州観光局 日本事務所 担当: 篠原・篠沢

TEL: 03-3352-6101 / FAX: 03-5363-1118

E-mail: mshinohara@aviareps.com / eshinozawa@aviareps.com